

稲作管理は終盤戦、仕上げの時期に差し掛かっています。  
適切な水管理による稲体活力の維持と、適期刈取り等を的確に行い、  
品質・食味の良い「アルプス米」に仕上げましょう！



## 1 てんたかく81の刈取り



【YouTube】  
16 収穫作業

「てんたかく81」は従来の「てんたかく」に比べ、成熟期が早い特性があります。刈遅れとならないよう注意し、胴割米の発生防止に努めましょう。

### 【てんたかく81刈取適期の目安】

◎籾黄化率 85～90%頃

出穂期	刈取適期
7月13日頃	8月20日頃
7月17日頃	8月23日頃

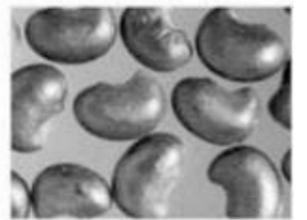
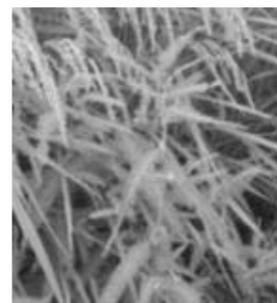
表示の日を参考に、  
適期内に刈終わられるよう、  
計画的に収穫しましょう！



- 圃場の状態により刈取適期は異なります。  
各地区に設置される刈取適期表示札を参考に、必ず籾の黄化状況を確認して刈取時期を決めましょう。
- 立毛胴割の発生を防ぐため、落水を早めないようにしましょう。

### 【刈取作業の注意点】

- 刈取が遅れないようにコンバインの掃除を早めに終わっておきましょう。
- 小石やガラス片などの異物が混入しないようにして下さい。
- クサネム等の雑草の種子は選別が困難なので、収穫前にあらかじめ抜いておきましょう。
- ヤケ米発生防止のため、籾は収穫後4時間以内に乾燥機に入れ、送風を開始しましょう。



クサネム(左)とクサネムの種子(右)

## 2 コシヒカリの水管理



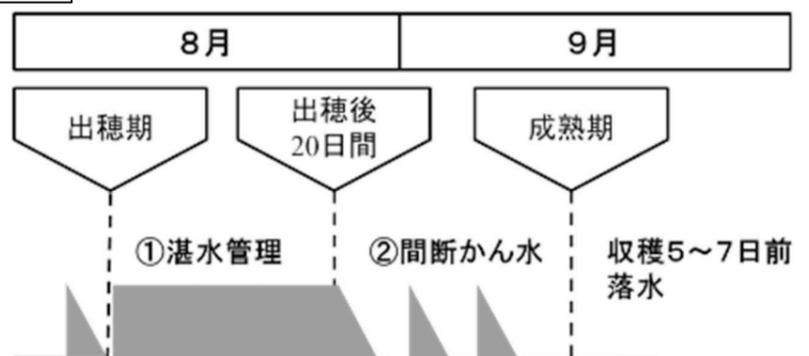
【YouTube】  
15 登熟期間  
の水管理

### ＜水管理のイメージ＞

高温条件下での白未熟粒および胴割粒の発生低減には、「登熟期間の稲体活力の維持」が重要であり、その方法として「水管理」が非常に有効です。

- ①出穂期以降 20 日間の湛水管理と、その後の
- ②収穫5～7日前までの間断かん水を徹底しましょう。

【生育ステージ】



【水管理】

#### ①「湛水管理」の方法

- ・3cm程度に湛水し、田面が露出する前に再度入水する。
- ・水持ちのよい圃場では、適宜、水の入れ替えを行う。

田面が出ないようにね



湛水管理(水深2～3cm)



湛水管理により葉色が維持され、登熟が良好になるよ！

#### ②「間断かん水」の方法

- ・「3cm程度入水→自然落水→(足跡水がなくなったら)入水」を繰り返す
- ・フェーンが予想される場合は、あらかじめ湛水する。

こまめな水分補給で最後までがんばるよ！



間断かん水

※フェーン現象予測(富山県農業共済 HP)をご活用ください。  
<http://micos-sajwa.or.jp/hokuriku/nosai-t/index.htm>

◎下流域まで十分に水が行き渡るよう、地域で計画的な用水利用に努めましょう。

～今年のカスミカメムシ類、クモヘリカメムシが多発傾向です～

斑点米発生防止のため、基本防除は、適期に確実に行いましょう！

### 3 乾燥作業



【YouTube】  
17 乾燥作業

#### (1) 張り込み時のポイント

- 高水分粳を長時間放置すると、ヤケ米になるので、収穫後4時間以内に乾燥機に入れて送風しましょう。
- 張り込み量が少ないと、相対的に循環速度が速くなり、品質が低くなるので、各乾燥機の基準により、量に応じた送風温度に設定しましょう。

#### (2) 乾燥作業のポイント

- 胴割米発生防止のため、急激な乾燥は避けましょう。
- 収穫粳の水分を確認し、下表を参考に、粳水分に応じた乾燥作業を行いましょう。

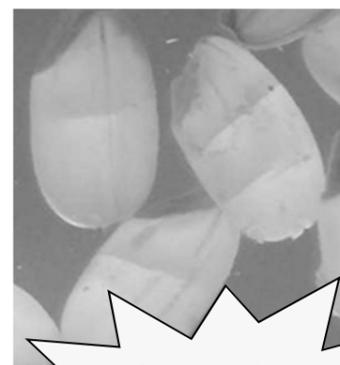
表 収穫時の粳水分に応じた乾燥作業のポイント

収穫粳の水分	乾燥作業のポイント
25%以上	・搬入後、2～3時間の通風乾燥 ・その後の、二段乾燥（粳水分17%程度で一度乾燥を止め、半日後の再乾燥）
20%未満	・乾燥機の機種標準マイナス5℃の送風温度で乾燥

- 粳水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに水分をチェックし、過乾燥を防ぎましょう。
- 玄米水分は14.5～15.0%に仕上げましょう。
- 下表を参考に、青米の混入状況に応じた乾燥機停止時の玄米水分で、乾燥機を停止してください。

表 乾燥機停止水分の目安

玄米100粒中の青米粒数	乾燥機停止時の玄米水分	乾燥機停止後の水分変化
5粒以下	15.0～15.5%	乾く(-0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	変化なし
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)



胴割米は絶対に  
出さない！！

### 4 調製作業



【YouTube】  
18 調製作業

#### (1) 粳摺作業のポイント

- ゴムロールが減っている場合や硬化している場合は交換しましょう。
- 肌ずれ米発生防止のため、粳の温度を常温まで冷まし、水分を確かめてから行いましょう。
- 脱ぶ率が80～85%になるようゴムロールの間隔を調整しましょう。
- 粳が製品に混入しないように、選別機の調整をしましょう。

#### (2) 選別計量のポイント

- 皆掛重量は30.5kgに正しくセットしましょう。
- 網目は1.9mmを使用し、適正な流量で屑米などは確実に除去しましょう。
- 時々、検定済の台秤で計量し、重量が正確か確認しましょう。

※石、金属片、異物等の混入を防止しましょう。



### ◎高品質、低コスト生産に、カントリーエレベーターやライスセンターを活用しましょう。

各種利用助成制度(平日利用助成、遠隔地利用助成、早生・晩生利用助成、大口利用助成)があります。

**生産記録簿はすべて記入し、出荷時に農協へ必ず提出して下さい。**

#### 秋の農作業安全運動 実施中

- 秋の農繁期には、コンバインによる事故が毎年多く発生します。
- 余裕をもった作業計画を立てるとともに、事故防止対策を徹底しましょう。
- コンバイン作業時は、衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった服装を着用しましょう。
- 詰まったワラを取り除くときは、必ずエンジンを切りましょう。
- 後進時には、死角が多いので、補助者による誘導や確認を行いましょう。